# 指宿の地域資源の探究

# 鹿児島大学法文学部と指宿高等学校の連携事業

石田智子・吉田明弘・兼城糸絵(人文学科多元地域文化コース)、馬場武(法経社会学科経済コース)



# 高大連携事業



- ・南薩の地域資源(文化資源・自然資源)の発見・理解の深化
- ・地域で活躍する人材育成への貢献
- ・地域マネジメントの視点導入、地域資源活用にむけてのシステム構築

地域に根差した課題発見

指宿高等学校

多様な専門知の活用

鹿児島大学法文学部

現場経験と実践活動

地域社会

内容

前授業

指宿高等学校の総合的な探究の時間「柏葉」における地域課題の解決を目指す探究活動(柏葉 ACTIVA)との連携を通して, 鹿児島大学法文学部の多様な専門知を地域に埋め込む取り組みを実施した.

高校生のコメント

今まであまり深く考えてこなかった現状、ありたい姿や 理想、解決策などを考え、チーム内で共有することがで き,大きな成果となりました.多方向の視点で物事を見 ること、利益や効率を出すにはどうしたら良いかなど、 今後必要になってくるであろうことをたくさん聞くこと ができ、本当に楽しい時間でした.

教員のコメント

成果だけではなく、課題研究に取り組んでいるプロセス の段階で、大学が参与することの意味も教育的にはとて も大きいと感じました。そもそもの問題意識や問いの立 脚点やプロセスに課題があった場合、視点やポイントを 早い段階でお話しできるのはとてもありがたいです.

## 柏葉一日総合大学 [2022年7月26日@指宿高等学校]

- ・大学の多分野の講義を1・2年生が受講する行事.
- ・事前打ち合わせ(活動方針、進捗状況、現状の課題)
- ・基調講演(研究やフィールドワークの進めかた)
- ・探究活動のチームごとに講義とディスカッション.



チームの授業風景

## 合同ワークショップ「指宿の未来への贈りものプロジェクト」[2022年8月10日@鹿児島大学]

- ・高校生の探究活動をより深く掘り下げるために、大学生の専門分野と対応するようにグループを編成. テーマ:温泉,カウンセリング,健康と食事,商店街,廃校再生,地域おこし,AI,途上国支援,郷土資料
- ・探究活動の現状と課題を議論を通じて整理,今後の取り組み内容を発表.









成果発表

大学生のコメント

高校生のコメント

高校生の考えを聞き、その考えに対して大学生がそれぞ れ専門とする知識を出し合い、考えを深め、そこからさ らに全員で案を出していくという形で話し合いができ, とても有意義な時間を過ごすことができました.

今の段階で行き詰まっているところ,曖昧なところがよ

り明確になり、今後の活動でどう進めていけばいいのか

計画を立てることができました!

高校生が積極的に問題意識をもって取り組んでくれてい たため,私たちも意欲的に活動に取り組めた.高校生な らではの考え方などは自分の今後の研究に活かしていき たいと感じた.

### 教員のコメント

大学生のコメント

指宿というフィールドそのものと言ってもよい指宿高校 生は、それだけにフィールドのよさに気付き辛いもので して、そんな高校生の「暗黙知」を引っ張り出して頂け たと思います。これからも、お互いにとって「未来への 贈りもの」となるよう、共にゆっくり・じっくり・楽しく、 探究していけますと幸いです.









集合写真(指宿高等学校 34 名·鹿児島大学 17 名)

### 指宿巡検 [2022年 | 2月 | 7日]

- ·指宿高等学校の柏葉 ACTIVA 校内発表会への参加.
- ・地域資源の価値の再発見・新発見を目的として,文化財と観光に焦点をあてたインタビューを実施.

協力機関:指宿市教育委員会,指宿市考古博物館時遊館 COCCO はしむれ, 指宿市観光協会,指宿市役所









指宿出身でも普段はなかなか訪れない場所に行けたり、 指宿市の観光や歴史研究の振興に尽力されている方々の お話や、高校生の発表を直接聞くことができたりと、よ り深く地元について学び、考えることができる良い機会 を頂いたと思います.

元々は温泉や野菜等で有名な観光地という印象であっ た. しかし考古学的にも重要な遺跡や地域に根付いた言 い伝えなどが残っていたりと、文化的な側面でも観光資 源として PR できる材料が多くある印象へ変化した.

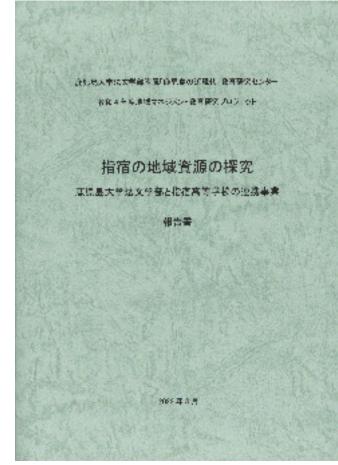






成果

指宿巡検



- ・鹿児島大学と指宿高等学校の関係の基盤を構築し、連携事業に対する考えや期待の共有、相互理解を進めた。
- ・連携事業では,単に成果を出すことではなく,プロセスを踏んで目標を達成する営みを重視している. 高校生と大学生それぞれの専門知や技能の特長や活用方法, つまずきやすいポイントを把握した. 多様な立場からの意見を聞きつつ、相互に触発し、じっくり時間をかけて考える機会が重要である.
- ・課題解決に取り組む前提としての「地域課題の発見」にあたってはフィールドワークのスキルが活用できる. 実践活動を通じて地域と文化を結びつける具体的なありかたについて今後も検討を続ける.

令和 4 年度成果報告書